

日頃、地域医療連携室へご支援・ご協力をいただきありがとうございます。
ごさいます。

この度、副院長の木村 啓二先生が平成28年4月1日付で、退任されることになりました。先生は、地域医療機関の先生方からの信望が厚く、呼吸器内科の専門医として県南地区の中心的な役割を果たされました。

木村副院長より、ご退任にあたり、ご挨拶のお言葉をいただきましたので、ご紹介いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳



退任のご挨拶

副院長 木村 啓二 先生

医師会ならびに福祉・介護関係者の皆さま、この度東北大学医学部呼吸器内科の人事により、平成28年3月31日付けで平鹿総合病院を辞し、4月1日より仙台の北40kmに位置する宮城県北の地域中核病院である大崎市民病院（500床）の第一呼吸器内科科長兼検診センター長として赴任することになりました。

私は昭和57年から3年間内科系研修医として平鹿総合病院に

お世話になり、5年間の東北大学医学部第一内科での気管支喘息やCOPDの研究生活を
経て、平成2年6月に第二内科の呼吸器部門のスタッフとして、再度平鹿総合病院に赴任
致しました。平成13年に渡辺一先生の後任として第二内科科長、平成21年には佐藤一成
先生に引き続き二番手の副院長に任命され今日に至っております。合計29年間、現在58
歳の私の人生のちょうど半分をこの横手の地で内科医人生を過ごしたことになります。こ
の間「病院の質と量の維持は病診連携、病病連携が肝要であり、このことこそが地域医療
を支える。」と考えていました。そのため紹介状の返事は外来の限られた時間の中でも
できるだけ丁寧に、逆紹介の診療情報提供書は可能な限り豊富な情報を簡潔に盛り込むこ
とを心掛けてきたつもりです。至らない点は多々あったとは思いますが、どうかご容赦下
さい。お陰様で先生方に紹介頂いた豊富な症例に支えられ、一人前の呼吸器内科医になれた
と思っております。改めてお礼を申し上げます。

この度赴任する大崎市の医療状況は全く分からないのですが、これまでと同様のスタ
ンスで地域医療に貢献してゆきたいと思っております。この横手医療圏のように「顔の見
える関係」を構築すべく努力する所存です。

最後に横手地域の医療・福祉・介護のますますの発展進化とそれを支える皆様のご健勝
をお祈りし、お別れのご挨拶といたします。

